

有栖川有栖 『鍵の掛かった男』 例会レジユメ

2015 / 11 / 07 SAT

1. 著者紹介

有栖川有栖：1959年、大阪市生まれ。89年、『月光ゲーム Yの悲劇'88』でデビュー。2003年、『マレー鉄道の謎』で第56回日本推理作家協会賞受賞。08年『女王国の城』で第8回本格ミステリ大賞受賞。他『双頭の悪魔』『絶叫城殺人事件』『乱鴉の島』など著書多数。（『鍵の掛かった男』著者紹介より）

*同志社大学法学部卒業。DMSの前身、同志社推理小説研究会出身！！

2. 主な作品紹介

学生アリスシリーズ：デビュー作は本シリーズ第一作。探偵役は江神二郎、語り手は作者と同名の有栖川有栖。英都大学推理小説研究会（EMC）のメンバーが様々な難事件に挑む青春本格ミステリ。江神二郎は「先輩にしたい先輩キャラ」第1位（個人的なランキング）えがみさんもかっこいいけどノブナガもかっこいいよ。『双頭の悪魔』『女王国の城』のノブナガが特に良い。

作家アリスシリーズ：実写化が決定した。主演は俳優の斎藤工氏。閑話休題。探偵役は火村英生、語り手は有栖川有栖。学生アリスシリーズとは異なり、こちらのアリスは作家！学生アリスが作家アリスシリーズを、作家アリスが学生アリスシリーズを書いている、のだとか。火村英生は「授業を受けてみたい准教授（助教授）キャラ」第1位（個人的）『鍵の掛かった男』は、こちらのシリーズ。

ソラシリーズ：上2つのシリーズとは、ちょっと世界観が異なる。今の日本のパラレルワールド的な世界が舞台。ここでは、探偵行為は違法とされている。そんな中、探偵となった少女の物語。

心霊探偵シリーズ：『幽』に何度か掲載されているが、単行本化していない。『幽』を買っていないので、何もわからない……単行本化しろ……KADOKAWAしごとしろ

ノンシリーズでは『マジックミラー』『作家小説』あたりが個人的に好きです。

3. 『鍵の掛かった男』

密室よりも冷たく堅く閉じた、孤独な男の壮絶な過去とは？

（火村英生シリーズ）13年ぶりの書き下ろし！

人間の謎を、人生の真実で射抜いた、傑作長編ミステリ。（『鍵の掛かった男』帯より）

1. 景浦浪子からの依頼 ～開幕～

・エンターテインメント系の新人賞授賞式に出席した有栖川有栖。

⇒畑違いのパーティに出席したのはなぜ？

明宝書房の土井からの依頼。〈影浦浪子からの相談〉

「あなたは、犯罪学者の火村先生と親しいそうですね」（p19）

「ご相談したいのは、こういうことです。有栖川先生と火村先生に、ある事件について調査していただきたいのです。どうして警察に頼まないのか、と怪訝に思われるでしょうね。失望したからです。私は警察を当てにしていません」（p22）

2. 事件 ～自殺か、他殺か～

- ・被害者：梨田稔（69）
- ・1月31日（火）夜に死亡 ⇒ 1月14日に丹羽が見つかる。
- ・中之島・銀星ホテルの客室
- ・ベッドの手すりに紐を結び、首を括って死亡。（非定型縊死）
⇒警察は自殺と判断／影浦、納得できず。

「自殺」では納得できない理由 ①遺書がなかった ②亡くなる数時間前まで変化がなかった ③自ら命を絶つ理由がない

・アリス 熱を帯びた調子につられてつい頷いてしまったが、彼女の言が正しいと認めたわけではない。故人に対する親愛の念が勝ちすぎて、自殺という悲しい現実を受け容れられないだけなのでは、と疑ってしまう。(p26) 執筆中に、自分が書いているものは何か変だぞ、と感ずることがある。視野狭窄に陥って、まともな文章を連ねているつもりが全体としてちぐはぐになり、俺は迷走している、と自覚する瞬間。それに似た状態になりかけていた。面倒な依頼を断ろうとしていたのに、引き受ける理由を自分で積み上げているかのようだ。(p29)

・事件のポイント：①フーダニット（他殺の場合、誰が殺したのか）②〈梨田稔〉とは何者だったのか ⇒ 長編だからこそできること。

- ・影浦浪子のアリスの小説に関する発言 ⇒ 梨田のテリトリーへ踏み込もうとするアリスの暗示

「親しみやすい顔をして、この作者は人間というものを嫌っているな、と思いましたよ。いたるところに垣根があって、『越えられる者だけ俺の世界に入れ』と嘯いている。だけど、もちろんのこと人間を嫌ったり憎んだりしているだけの人に小説はかけません。(後略)」(p34)

・アリスの梨田に対する印象 ⇒ 梨田稔は五年も銀星ホテルで暮らしたというが、どんな気持ちだったのだろうか？ 想像しただけで、とても淋しくなる。(p35)

3. 梨田稔 ～鍵の掛かった男～

- ・銀星ホテルに長期滞在（2010年1月からちょうど5年）
- ・梨田にとっての銀星ホテル 「ホームレス」と「ハウスレス」の違い ⇒ 梨田にとっての「ホーム」
「梨田さんがここを離れなかったのは、そんな環境が好もしかったせいかもしれませんね」(p87)
- ・昭和20年6月17日、兵庫県西脇市生まれ
- ・多くを語ろうとしない、つながりのある人間もほとんどいない
- ・天涯孤独
- ・ボランティア活動に励む
- ・周囲の人間の印象

「(前略) 話していると楽しくて、穏やかで気遣いの行き届いたいい人でしたよ」(p24)

「梨田さんには、どこか謎めいたところがありました」(前略) ご自分が何者であるかは語りたがらないご様子でした」(p84)

・アリスの受けた印象 ⇒ 梨田稔の人物像がぼんやり見えてくるような気がした。——世の中への借りを返しながらの隠遁である。(p78)

もう一人の鍵の掛かった男である火村英生のことを思い出す。いつ誰を殺したいと思ったのかについて口を閉ざしているが、どこかで行きずりの誰かにあっさり打ち明けているのかもしれない。(p273)

4. 捜査 ～頑張るアリス～

- ・火村が忙しいため、アリスが一人で捜査に。
- ・正義感より作家的好奇心によって。(p43) ⇒ 単独捜査
- ・繁岡巡査部長との対峙

「ふおい」

⇒繁岡は自殺だと主張 ①遺書がないのは珍しいことではない。②殺される理由がない（⇔自殺する理由がない）③金目のものはそのまま（2億円以上あったにも関わらず）

他殺なら証拠が必要だが、それが無い。事故死とするには無理がある。 ⇒ 自殺と断定

- ・そこで、他殺と仮定

・1月13日午後11時～14日午前2時に現場に出入りできた人物 ⇒ 外部はない。ホテルの従業員および宿泊客。

- ・死体から睡眠薬が検出。包み、容器はなし ⇒ 他殺説に有利？
- ・毎月16日だけ、必ずボランティア活動を休む梨田 ⇒ 月命日
- ・火村への報告

「昨日と今日、死んだ梨田稔がどんな生活をしてたかを聞いて回った。ボランティアをした先にも足を運んだんやけど、何をしてたかは判ってもどんなことを考えてたかが見えてけえへん。自分が何者かを知られんように鍵を掛けてみたいなんや」(p177) そのあとの「カチリ」

「(前略) ——そうやとしたら、姿なき犯人による完全犯罪は達成か？」

「俺が一番嫌いな言葉を繰り返すな」

「カーン—ゼー」

「ちっ」(p180) かわいいやりとり

- ・判明する梨田の過去 (の一部) 「梨田稔は過去に人を死なせています」(p194)
- ・昭和60年8月16日午後10時50分頃 飲酒運転でひき逃げ
翌々日、出頭
- ・もう一つの罪 ⇒ 知人男性に大けがを負わせた。

「聞けば聞くほどひどい。紳士どころか人間失格ではないか」(p196)

- ・平成3年10月出所。⇒ 16年後、銀星ホテルを訪れる。
- ・16年間は何をしていたのか。

この電話に出る前と後で梨田稔の人物像は劇的に変わってしまった。(p199)

- ・最近の梨田について ⇒ 機嫌がいいことが多かった (p212)
⇒彼を喜ばせることとはなんだったのか。
- ・梨田の過去を知る人物との接触 (p220)

「ガキの時分はゴンタやったけど、無茶はせなんだし、弱い者いじめをする奴をどついたりして、ええとこあった。——ゴンタって判るか？ やんちゃのことや」(p222)

- ・梨田とX、A子 (カコちゃん) の関係
- ・A子がベビーカーに赤ん坊を乗せて歩いていた、という証言。⇒ この赤ん坊の正体、その父親は誰か
- ・昔、仕事を共にしていた人物・根岸との対面 (2月7日)
- ・梨田と根岸の叔父が同じ刑務所に服役(p261) 出所2年後、1995年・阪神淡路大震災
- ・宝くじ
- ・喧嘩別れ ⇒ 2億円を超える金 (2007年4月) ⇒ 火災
- ・約5年ぶりの連絡
- ・梨田は探偵を雇ったことがある？ ⇒ なにを調べさせたのか
- ・16日の新事実 (p279) ⇒ 平成5年9月16日夏子 (カコ)
- ・「桂木鷹史は夏子の忘れ形見であり、その傍にいたいと思った梨田」というアリスの推理 (p284)
⇒自分の子ではないのに、傍にいたいと思うのか？
- ・鷹史の両親
- ・火村のアドバイス「夏子の身辺について調べろ」(p291)
梨田の秘密は、しっかりとロックされたままだ。(p305)

5. 真相

- ・犯人と梨田の繋がり
- ・梨田と桂木鷹史の繋がり
- ・犯人の人物像

「おーい、聞こえるか？ 君と会えるのを楽しみに待っているよ、稔」(p537)